



☆本紙のカラー版をホームページ「本郷ふじやま公園」にてご覧いただけます。

里山をもっと知ろう ～古民家との融合をめざして～

本郷ふじやま公園運営委員会 事務局長 辻 登

あけましておめでとうございます。本郷ふじやま公園は今年2月に開園15年目を迎えます。これも来館者の皆さんや関係行政機関のご指導ご協力、ボランティア会員皆さんの積極的活動あつてのことと心より感謝とお礼を申し上げます。

ふじやま公園は古民家ゾーン、弓道場と里山から成り立っています。古民家では、公園の主な役割である“昔を知り体験する”ことが出来るように当時の様子を保ちつつ、あわせて七草粥などの伝承行事を行っています。更には工作棟の手づくり体験教室、小学校児童たちの校外授業である「昔の生活を知る」の学びの場として農具や民具を展示し、ボランティア会員が解説を行っています。

古民家以外でも畑作や花壇・薬草園の農園芸活動、里山での竹林伐採や炭焼きを行う活動があります。かつては日常生活と里山とは密接な関係がありました。しかし現代ではその関係が希薄になっているように見えます。これからは、里山をもっと知り、活用し、今日的な里山の価値を見出したいと思います。具体的には里山を景観として見るだけでなく、収穫祭、竹林整備(筍掘り)、竹炭焼き体験、里山を巡るポイントラリー、たい肥作りの落葉集めなどの行事・活動を通して里山をもう少し別の目線で見、その豊かさを実感してみたいと思います。

里山の植物や生きもの達といかに共生するのか学ぶ機会を作っていきます、今年も皆さまのご協力をお願いいたします。



2月15日(水)の開園記念日式事・餅つきの予定は第4面にあります。



七草がゆ。今年もおいしく頂きました。公園の大根を使ったりしてなるべく地域色を出そうとしているのですが、さてその容器。横浜市のごみ分別で「プラ」に分類されるもので、もちろん再生可能な資源。最近のエコは再生より再利用の方がコストもかからずエコロジーだけでなく、エコノミーにもなるとされている。近くの公園では、この種のイベントでは箸、容器持参をお願いしているところがある。家に帰って洗えばごみが出なくて済む。みんなでエコを体験するにはその方がいいかな、と考えてみた。



◆みんなで餅つきを楽しみました

恒例となった年末の餅つき大会が晴天に恵まれた12月18日に開催され、おとなも子どもも餅をついたり、ミニ正月飾りやまゆ玉飾りを作ったり、年賀状を刷ったりして、大賑わいでした。久しぶりにかまどにも火が入り、煙で燻された天井の萱も虫退治が出来てきつと喜んだことでしょう。



◆今年一年健康で!! “七草粥とお正月遊び”

久しぶりに冬らしい寒さが戻った1月8日、公園の新年皮切り行事となる“七草粥とお正月遊び”が開催されました。参加者は、体に優しい春の七草がたっぷり入った七草粥でおなかを満たし、羽根つき、こま回し、竹馬などのなつかしい正月遊びに興じる子供たちの歓声は、いつまでも途切れることはありませんでした。



今年も七草の寄せ植えを展示しました

12月中旬、竹で設えた箱庭に「春の七草」が植えられました。今年の“箱庭”は昨年スタッフが苦心して制作したものを再利用したエコな箱庭です。囲いの真竹は洗い流したところ古民家に相応しい渋味の色合いになっていました。春の七草とはセリ、ナズナ(ぺんぺん草)、ゴギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)の7種です。馴染みの薄いホトケノザはコオニタビラコ(写真)ともいい、湿地を好み初春の水田などに葉がロゼット状に生え、早春に黄色い花が咲きます。1月下旬まで展示予定です。是非ご覧ください。



古民家Q & A まゆ玉飾りの由来

Q: まゆ玉飾りの由来は?

A: 小正月には、豊作を願って行う儀礼がいくつかあります。庭田植(ニワウエ)、鳥追、成木(ナギ)責めなどがありますが、まゆ玉はその代表的なものです。まゆ玉はクワ、ミズキ、ヤナギなどの枝にまゆ形の団子や餅を数多くつけ、座敷・神棚・大黒柱その他に飾付けます。



まゆ形になったのは養蚕が盛んになってからで、以前は餅や団子をちぎってつけていました。更には神を迎える依代として木片を薄く削って作った花のような祭具や、縁起物の千両箱、恵比寿、大黒、打出の小槌も飾ります。まゆ玉飾りは長野県から関東・東北地方に広く分布し、どんと火であぶって食べたりします。江戸では庶民は元日に浅草寺などで買い求め、飾ったとのこと。

古民家では、年末に青竹とヤナギの枝にまゆ玉やいくつかの縁起物を付け、正月中旬まで飾っています。



ヒサカキ ツバキ科

本州、九州、四国、台湾、中国などに分布する。山地に生え常緑性で高さ 4～8m になり樹皮は灰褐色。葉は楕円形で厚みがありふちは鋸状、深い緑色で表面にツヤがある。初夏に白い小さな花を咲かせ秋には黒色の実を熟し独特の香りで虫を集める。サカキが育成していない関東以北の地域では「ヒサカキ」が神事の代用として古くから利用されている。



《文化財防火訓練を行います》

1 月 26 日 (木) は文化財防火デーです。横浜市指定有形文化財である旧小岩井家住宅のあるふじやま公園と栄消防署とは、古民家で防火訓練を行います。当日は 10 時から、通報、初期消火、避難、人命救助、ドレンチャー散水、消防ポンプによる放水、消火器操作などの訓練を行います。消火器操作訓練は来園者も参加できます。ふるってご参加ください。



『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

- ◆ スタッフの説明を受け、名主、様式、式台のある格式の高さに圧倒されるばかり。(市内 60 代 ひとりで)
- ◆ 広いお座敷が残っていて名主様の努力に感心しました。これからも、歴史を語るものとして大切に残してってください。(県内 60 代 家族で)



平成 29 年 2 月度ボランティア活動予定

部 会・事 項	日 程	部 会・事 項	日 程
事務局会議	3 日(金)	古民家歴史部会 部会	12 日(日)
開園記念式事	15 日(水)	古文書解読勉強会	5 日(日)
農芸部会 部会	20 日(月)	歴史探訪	1 日(水)
作業	月曜日 木曜日	クリーンアップ	7 日(火) 21 日(火)
里山部会 作業	7 日(火) 11 日(土)	広報部会	
	18 日(土) 26 日(日)	ふじやまだより編集会議	4 日(土)
工作棟部会 部会	8 日(水)	印刷	11 日(土)
子ども工作準備	適時	ホームページ制作打合せ	1 月 29 日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作	2月19日(日) 10時～11時 〃 13時～14時	割りばしで作る輪ゴムてっぽう (小学生)	無料	当日先着順 各10名
布細工 (全2回)	3月9日(木) 12時30分～ 3月15日(水) 16時30分	春の壁掛け	1,000円	2月28日(火) 12名
炭焼き体験教室 (全3回)	3月11日(土) 9時～12時 3月12日(日) 7時～15時 3月18日(土) 9時～12時	竹林整備の一環として間伐した竹を炭焼窯で焼いて炭にします	無料	2月28日(火) 10名
初心者茶道 体験教室	3月18日(土)13時～16時	四季を感じながらおもてなしの心を学びましょう	500円	2月28日(火) 5名
七宝焼	3月22日(水)13時～15時	金箔・銀箔を使ったブローチ	700円	3月12日(日) 6名
布ぞうり作り	3月24日(金)10時～15時	一日で一足完成します	700円	2月28日(火) 12名
里山の そば打ち塾	3月25日(土)10時～12時	手打ちそばの基本を学び、自分で打ったそばを試食します	800円	3月12日(日) 10名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します。

・・・お知らせ・・・

★ 文化財防火訓練

日 時：1月26日(木) 10時～11時

場 所：古民家主屋及び前庭

来園者による消火器操作訓練もあります。ふるってご参加ください

★ 開園十四周年記念餅つき会 みんなでつこう祝餅

日 時：2月15日(水) 10時～12時 つきあがった紅白餅を進呈します

紅白餅引換券：9時45分から配布します 先着200名

★ いろいろ端むかし話の会 いろいろの火を囲んで神奈川や日本のむかし話を楽しんでもみませんか

日 時：2月16日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろいろ端 定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 雛人形飾り

2月9日(木)から古民家主屋座敷でご覧いただけます。江戸時代後期から現在までの雛人形を見比べて下さい

3月5日(日)には雛人形を見ながらの呈茶会を予定しています(詳細は次号で)



★12月ふじやま公園来園者数 12月度来園者数 1,673名 28年度累計 16,465名

- ・開 館 時 間： 9時～17時
- ・入 館 料： 無 料
- ・休 館 日： 毎月第1水曜日(2月1日)
- ・クリーンアップ： 毎月第1・3火曜日 10時～11時(2月7、21日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593